

寫

第八飛行師團
配屬部隊

右ハ陸軍中將山本健兒統率ノ下昭和二十年
三月下旬南西諸島方面ノ作戰開始セラレマ
方面軍戦力ノ骨幹トシテ平素ノ訓練成果
ヲ遺憾ナク發揮シテ克ク長時日ニ亘リ各種ノ
困難ヲ克覆シテ韌強ナル攻撃ヲ反覆シ航
空母艦百七十餘隻ヲ撃沈破スルノ偉功ヲ樹テ
是レ師團長ノ卓越セル統率ノ下持攻隊員ヲ
中核トスル團下將兵ノ殉忠ノ大義ニ基ツク攻
撃精神ノ發露ニシテ其ノ武功真ニ拔群ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和二十年六月十九日
第十方面軍司令官 安藤利吉

目 録

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢概要	一
二 戦闘ニ影響ヲ及シル氣象地形	三
三 彼我ノ兵力	三
四 戦闘經過概要	六
五 戦闘後ニ於ケル彼我形勢	五
六 我が損害	五
七 功績拔群ナル者	五

昭和十九年十月台灣沖航空戦ニヨル大損害ニ拘
 ラス有カナル別敵機動部隊ハ同月比島方面ニ
 上陸ヲ開始セリ。我が所在部隊、勇戦散鬪ハ敵ノ
 大部隊ヲ阻止シ其ノ企圖ヲ挫折セシメタリト雖トモ
 敵航空基地ノ急速設定ト之ガ使用ニ依リ其ノ航
 空勢力ハ逐次増強サレツ、アリ。然モ二月硫黄
 島上陸開始ニ伴ッテ本土ニ對スル攻撃ハ熾烈ト
 ナリ又南西諸島ニ對スル敵機動部隊ノ動向ハ
 愈々活潑トナリ嚴戒ヲ要スルニ至レリ

三月十八日遂ニ敵機動部隊ノ一部ハ渡嘉敷慶
 良間島ニ上陸ヲ開始ス

2 又機動部隊ノ一部ハ宮古島、石垣、台湾沖ヲ遊才シ連日數十機、艦爆聯合ヲ以テ未襲飛行場並ニ附屬地區ニ對シ銃爆撃ヲ實施スルニ至リ部隊ハ二月初旬以來飛行場、整備、強化ヲ企圖シ誘導路、延長及秘匿掩体、秘密飛行場構築等ヲ實施シ、銳意航空作戰準備ニ邁進セリ

(附圖參一參照)

尚二月十二日ヨリ四五混旅作命甲第十二號ニ基キ海軍南飛行場、作業ニ協力シ其、整備ヲ促進スルト共ニ第九飛行團、石垣島展開ニ依リ三月二日其、指揮ニ入り三月六日概ニ戰鬥準備ヲ完成

大ナル影響ヲ認メズ

三 彼我ノ兵力

沖繩作戰間ニ於ケル敵、來襲ハ特ニ熾烈ニシテ一日平均五十數機ニ昇リ概ニ戰爆聯合ナリ

來襲狀況附圖參一、如シ

ニ交戦セル敵、團體號

ルセリ麾下、米國第三艦隊第七艦隊ナルモノ、如シ

敵機、機種裝備

本作戦間ニ於ケル來襲敵機、機種左表ノ如ク特ニF6F、攻撃多クシテ其、性能裝備共ニ優秀ナリ

3 敵、戦法

4 敵機ノ射撃並ニ爆撃技術ハ一般ニ優秀ニシテ性能裝備又優秀ナリ

爆撃要領

爆撃機戰闘機共ニ進入高度約一五〇。米内外ニシテ概テ滑走路ニ平行シ。一四五度ノ角度ニ降下突入セルヤリ艦爆機ノ爆彈搭載量ハ中堅爆彈ノ小型爆彈ヲ併用シハ一ニ個ヲ投擲ス爆撃目標ハ滑走路ヲ主トシ誘導路並ニ飛行機秘匿位置ノ森林地帯ヲ盲爆ス此少ノ徵候ト雖トモ發見セバ銃爆撃ヲ實施セリ

戰闘機ニ依ル爆撃ハ艦爆ニ比シ突入角度大ニシテ前記ノ如クハ附屬設備等ニシテ多ク森林秘匿ノ概テ森林

彈數ハ中型一個、小型二個程度ヲ用フ時限爆彈使用ハ僅少ニシテ四月五日相當數ヲ混用セル事アリ

爾後使用セス六月二十一日小數使用シタルノミナリ

四射撃要領

爆撃突入時目標物ニ對シ射撃ス目標滑走路ナル場合モ威赫射撃ヲ實施シテ、投擲セリ

戰闘機ニ依ル射撃ノ目標ハ爆撃中及終了後行ヒ附屬地區並ニ彈痕補修作業ニ從事セル作業人員ヲ殺傷ノ為滑走路周辺ハ掃射ヲス射撃技術概テ正確ニシテ目標發見セバ概物ニ射撃ス

5 四射撃要領ノ射撃ト併用シ主トシテ秘匿掩体ヲ目標

6
ト又艦爆六、八個、戦闘機二、四個ヲ投弾ス、効果
小ニシテ不獲彈多ク正確ナラズ

三、米襲ハ數回乃至十數回ニシテ主トシテ晝間攻撃ヲ爲シ、
特ニ拂曉並ニ薄暮ヲ利用シ、特攻隊ノ出撃ヲ封殺ス
夜間攻撃ハ月明ヲ利用シ、一、二機、小數機ヲ以テ米
襲焼夷彈、照明彈ヲ投下シタル後、攻撃隊ヲ主トシテ
彈痕補修作業ヲ妨害セリ
四、戦闘經過概要
三月二十五日乃至六月三十日、米襲狀況並ニ滑走路
彈痕附表第一、如シ

島、阿嘉島及渡嘉敷島ニ對シ上陸ヲ開始セリ
六七。前後ニ於ケル慶良間列島附近、敵情三群ナリ
一、群(AニB基幹、五隻)阿嘉島西方七料西進中、渡
嘉敷島東南一。料ヲ北進中、一、群(AニB基幹)
二、群(B、C、D系滿、西方四料
三、群(B、C)一前島、東方三料

五、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、火炎上中
六、德敷(東南方)五料附近、北端、火炎上中
七、情報ト共ニ部隊ハ對空、對海、監視ヲ嚴重ニ對空
射撃部隊ヲ編成、對空準備ヲ完了セリ

7
三八飛場設作命甲第三二號

第一二八野戰飛行場設定隊命令 三月廿五日

一 慶良間群島周辺、機動部隊ニ對シ、第九飛行團ハ

一部ヲ以テ也ヲ攻撃ス

二 部隊ハ全カヲ以テ前項出動準備ニ協力セントス

三 本部各中隊ハ最大限ノ人員ヲ第五、六特設整備

工兵隊長ハ二。名ヲ速ニ飛行場南側附近ニ差出ス

細部ニ關シテハ甲斐中尉ヲ以テ指示セシム

四 出動準備期間持ニ敵、夜間偵察並ニ企圖、秘匿ニ注

意スベシ

五 對空射撃部隊トシテ左、如ク編成ス

長 將校

予ハ二四。以降、敵飛行場中央ニ在リ

第一二八野戰飛行場設定隊長 山田少佐

三月二十六日

晴

各中隊並ニ特設工兵隊ハ出撃準備ニ協力。四三。

道ニ待攻機六、直援機一二機ヲ出撃セシメ、引續キ晝

間ニ至リ誘導路、構築、秘匿掩体並ニ秘密飛行場

構築ヲ實施セリ。敵機、未獲ハ五七機ニシテ攻

撃ノ間斷ヲ利用シ作業ヲ續行ス

三月二十八日

晴

四三。機動部隊報

八飛師參電一四七六號

正式空母四ヲ含ムハ輸送船團一。隻以上一三三。

九 那霸基突一八。度一五。料北進中

10 一三八飛場設作命甲第三六號

第一八野戰飛行場設定隊命令

三月二十八日
飛場

一 數十隻ヨリナル敵艦船群(空母ヲ含ム)ハ依然沖繩本島
西側海岸三四。料附近ニ在リ

飛行團ハ本夜半ヲ利用シ一部ヲ以テ前項艦船群ヲ
攻撃ス

二 部隊八九飛作命第二十五號ニ依リ出撃準備ニ協力セテス
三 野村少尉ハ部隊並ニ特設工兵隊ヲ併セ指揮シ出
撃作業ニ協カスベシ
一三八飛場設作命甲第三七號

第一八野戰飛行場設定隊命令

三月二十九日
飛場

第九飛行團ハ之ニ對シ一部ヲ以テ攻撃ス

二 部隊ハ前項出撃準備ニ協力セントス
三 石本少尉ハ部隊兵力三〇名、特設工兵一五〇名ヲ
併セ指揮シ待攻隊出撃準備ニ協カスベシ
細部ニ関シテハ飛行場大隊ト密ニ連絡スベシ
部隊ハ一九。ヨリ右出撃準備ニ協カシニ。終了ス

三月三十日

曇

部隊ハ是枝少尉以下一八。名ヲ以テ出撃準備爲
協力セルモ出撃中止ニ至ル

三月三十一日

曇天

一一。八。三ヨリ。八三。迄一機(主トシテBF)來襲一三。一三ヨリ

延一三機三波二五ノ系襲攻撃スルモ飛行場其他ニ被害ナシ

敵輸送船團ハ依然慶良間周辺ニ蟻集シアリ又別ニ約一五。隻ハ本夜沖繩周辺ニ到着スル距離ニアリ

六部隊ハ一九。第十七戦隊並飛行第四十一中隊攻撃協力ノ為長谷川少尉以下。名ヲ以テ協カス

四月一日

晴

三八飛場設作命甲第三八號

第三野戦飛行場設定隊命令

三月三十一日七。東飛行場

一沖繩周辺ニ有力ナル輸送船團蟻集シアリ

二部隊全カヲ以テ前線攻撃準備ノ海軍協力セリ

三園田大尉ハ各部各中隊ノ全員ヲ指揮シ飛行場ニ

到リ飛行場大隊ト密ニ連絡シ攻撃準備ニ協カス

四予ハ滑走路交叉点ニ在リ

設定隊長 小田少佐

。七三。輸送船約五。上陸用舟艇多數ヲ以テ沖

繩本島南東岸湊川ニ上陸ヲ開始セリ、亦別ニ八

。輸送船約六。水陸兩用戦車多數ヲ以テ北飛

行場方面ニ上陸ヲ開始ス

部隊ハ右情報ヲ得ルモ速ニ對空對海ノ監視ヲ

嚴ニスルト共ニ對空射撃部隊ヲ配置シ作業ヲ續

行セリ。九一三ヨリ二波ニ亘リ合計六機一ニ四ヨリ

14 二波二直リ一四機系襲主トシテ飛行場南端地區對
シ銃爆撃ヲ實施セリ部隊ハ全カヲ以テ出撃
準備ニ協力敵輸送船覆滅ノ意氣ニ燃ヘ部
隊長ヲ核心トシテ一致團結萬難ヲ排シ不眠不休
作業ヲ實施攻撃ヲ容易ナラシメタリ

四月三日

晴

一。八一六ヨリ四波二直リ五。機系襲場内飛行機自
係沿岸秘匿掩体附近ヲ銃爆撃ス為之滑走路
二大小四個、彈痕ヲ生ズ
三左記命令ヲ下達ス
三八飛場設作命甲第三九號

一。本朝来、敵機ハ飛行場南端地區内ニ大型一小型
三個、彈痕ヲ生ズ

飛行團ハ沖繩西方海域、輸送船ヲ攻撃ス

二部隊ハ全カヲ以テ之ガ補修ニ任セントス
完成時刻ハ二三〇トス

三第一中隊ハ滑走路北端小型 二

第二中隊ハ滑走路中央大型一小型二

整備隊ハ右作業間自動貨車ニ依ル碎石ノ
運搬整地輾圧ヲ實施ス

四予ハ戦闘指揮所ニ在リ

設定隊長 山田少佐

15 四月四日

晴

16
一〇二五ヨリ三。間ニ亘リ艦爆聯合一。機北面ヨリ進入

上空施田補助滑走路北端並ニ滑走路南地區

南部誘導路ニ各一發爆彈命中セリ、部隊ハ

對空射撃部隊ヲ以テ極力之ニ應戰撃墜ニ力メ

タルモ至ラズ東南ニ遁走セリ

ニ部隊ハ全カヲ以テ彈痕補修作業ニ任ジ四月五日

一〇六〇完了ス

四月五日

晴

一〇五三ヨリ一數回ニ亘リ來襲ス一五五。戦爆聯合四

三機攻撃ヲ加ヘ來ル對空射撃ハ之ト應戰棄

退スルモ飛行場内ニ一八發、彈痕ヲ生ズ

三八飛揚隊命令中機中隊

第三八野戰飛行場設定隊命令

四月五日
飛揚隊

一九飛團作命第三三號ニ新ニ本作業間等五、六

特設整備工兵、主力獨立歩兵第二九八大隊

三四。各ヲ予ノ指揮下ニ入ラシメラル

ニ部隊ハ明。ニ。作業ヲ開始シ。五。迄ニ鋪裝

シアル部分及補助滑走路ヲ完成セントス

ニ各隊ノ作業担任區域ハ現地ニ於テ指示ス

各隊ハ一。五。以降選抜セル候補ヲ派遣シ彈痕ノ

細部ヲ調査セシムベシ

歸隊時刻ハ一四。トス

一四整備隊長ハ車輛(緑縱手先)ヲ各隊ニ配屬スルト共ニ

18 主力ヲ以テ輾圧ヲ實施スベシ

實施ノ順序ハ補助滑走路、主滑走路トシ細部ハ整備隊長計画スベシ

五 作業間各隊ハ危害豫防ニ注意スルト共ニ時限爆彈ヲ投索ヲ續行スベシ

六 敵機ノ攻撃ヲ豫期セラル、ヲ以テ敵言戒ヲ嚴ナラシムルト共ニ予メ人員資材ノ待避ヲ準備スベシ

七 爆破推進隊ヲ編成シ其編成左如シ

八 各隊ハ時ニ選抜セル射手ヲ以テ對空射撃部隊ヲ編成シ極力敵機ノ擊墜ニ努ムベシ

九 予ハ二〇〇以降第三四號掩体附近ニ在リ

第一班	第二班	第三班	警戒兵
軍曹 長	軍曹 長	兵 伍 長	
西上野 治	坂田 治	今村 政	特設工兵
上等兵	衛生兵	指導官	
小本 春雄	船津 康任	中尉 小野 英一	

隊長 陸軍少尉 野村 勇

19 部隊八九飛行團作命第三七號ニ基キ特設警備工兵隊、主力獨立歩兵第三九八大隊、協力ヲ以テ彈痕補修作業ヲ準備ス

特ニ敵、時限爆彈ヲ混用シ作業、進歩困難ヲ極メタルニ爆破推進隊ヲ編成シ時限爆彈及不發

禱、處理ニ任ゼシメ航空作戰遂行ニ協力セリ

四月六日

雲

昨夜來、作業ハ。五。予定、如ク完了引續キ續行
逐次範圍ヲ擴張シツ、夜ヲ徹ス。五四ヨリ七波ニ
亘リ敵機未襲シ秘匿掩体附近ヲ銃爆撃セリ
部隊ハ嚴ニ作業企圖ヲ秘匿シツ、迅速ナル退避ヲ行
敵來襲ノ間断ヲ利用シテ銃意修復ニ努ム

四月八日

一左記命令ヲ下達ス

三八飛場設作命甲第四一號

第一八野戰飛行場設定隊命令

四月八日零時
東飛行場

政令ノス

二部隊ハ前項攻撃ニ協力明九日。四。〇。〇。〇。中。一。長。廿

一。〇。米、補修作業ヲ完成セントス

三各隊ハ全力ヲ以テ之ガ完成ニ邁進スベシ

細部ニ関シテハ岡田大尉ヲシテ指示セシム

四整備隊ハ車輛ヲ以テ補修後ノ輾圧ヲ實施スベシ

五後身隊ハ前日ニ引續キ處理ニ任ズベシ

六綿貫軍醫中尉ハ救護班ヲ指揮シ作業指揮本部

部ニ位置シ負傷者ノ救護ニ任ズベシ

七予ハ零時以降戰鬪指揮所ニ在リ

設定隊長

小田少佐

九飛行團作命第四。號ニ依リ部隊ハ拚死迄ニ中一。長一八〇米、滑走路ヲ修復。敵機、來襲依然。活潑ナリ然レドモ將兵、志氣旺盛。四月九日。四〇〇完了セリ。

四月十日

曇後雨

一〇六五五ニ次ニ亘リ戰爆聯合一八機、未能夜ニ飛行場上空ニ飛来、銃爆撃ヲ行フ。對空射撃部隊ハ直チニ之ニ應戰猛烈ナル砲火ヲ六一ノレドモ撃墜ニ至ラズ。爲之滑走路内被彈(不發彈時限彈ヲ含)三二個ヲ數ヘリ。
ニ左記命令ヲ下達ス

一三八飛行場設作命第四二號

第一三野戰飛行場設定隊命令

四月十日 一三〇 東飛行場

- 一 部隊ハ引續キ彈痕補修並ニ整地ヲ續行セントス
- 二 各隊、作業担任区域ハ現地ニ於テ指示セシ如シ
- 各隊ハ作業開始前ニ將校亦候。派遣シ作業担任區域周辺五〇米ヲ搜索シ時限爆彈、有無ヲ調査スベシ
- 三 爆破挺身隊長ハ一ニ。迄ニ所命時限爆彈ヲ處理スベシ
- 爾後ノ處理ニ関シテハ別命ス
- 四 其他作業、細部ニ関シテハ岡田大尉、方石建技中尉ヲ指示セシム

五 予ハ戰鬥指揮所ニ在リ

設定隊長

山田少佐

24 一四。作業ヲ開始シ二三。予定、如ク作業ヲ終了セリ

四月十四日

晴

一十一日敵系襲機十波ニ亘リ三七機來攻飛行場並ニ
周辺秘匿掩体ニ銃爆撃ヲ加フ部隊八一五。作業
ヲ開始シ敵ノ間断ヲ促シ極力補修ニ任ズ

十二日有方ニ機動部隊ハ石垣西南方一五。新ヲ索
北方ニ向ヒ前進中ニモ、如シ

ニ左記命令ヲ下達ス

一八飛場設作命甲第二三號

第一八隊飛機場設隊命令 冒首一隊

一沖繩本島方面、敵機ハ依然ハ襲ヒナリ有方ニ新機動

部隊ハ依然作業ヲ續行シ航空部隊、作戦ニ協力セ

トス

ニ本部各隊ノ作業担任區域ハ現地ニ於テ指示セル如シ

トス

四三浦中尉ハ高木大隊(名)ヲ指揮シ秘密飛行場ノ

整地ヲ實施スベシ

細部ニ関シテハ別命ス

五爆破挺身隊長ハ特設工兵一五名ヲ併セ指揮シ不獲

彈、處理ヲ實施スベシ

六高見曹長ハ自動貨車ニ轆圧車(三七)一ヲ以テ補助

滑走路、運土轆圧ヲ實施スベシ

銃爆撃ス

ニ左記命令ヲ下達ス

一三八飛場設作命甲第四五號

第一三野戦飛行場設定隊命令

四月廿一日
東飛行場

一部隊ハ前日ニ引續キ作業ヲ續行セントス 一七〇。

前後友軍機ハ上空ヲ掩護ス

ニ各隊ノ作業担任區域ハ前日ニ同ジ三浦中尉ハ

宮田高木西大隊約三〇名ヲ併セ指揮シ秘匿

飛行場ノ整地ヲ實施スベシ

自動貨車ノ配當ニ関シテハ岡田大尉ヲシテ指示セシム

設定隊長 山田少佐

一三八飛場設作命甲第四六號

第一三野戦飛行場設定隊命令

四月十六日
東飛行場

一飛行團ハ一部ヲ以テ本十六日薄暮ヲ嘉手納西方海

面ノ敵艦船ヲ索メテ攻撃ス

ニ部隊ハ前項攻撃ノ爲協力セントス

ニ各隊ハ全方ヲ以テ別ニ示ス担任區域ニ從ヒ一六〇。

作業ヲ實施スベシ

四高見曹長ハ自動貨車ニ轆圧機(三)ヲ以テ碎石

運搬ニ任シ補修完了後ハ轆圧ヲ實施シ一八〇迄ニ

之ヲ完成スベシ

29 予ハ戦闘指揮所ニ在リ

設定隊長 山田少佐

一 四月十八日。四。頃ヨリ敵ノ攻撃ハ熾烈ニシテ我が待
 攻機ノ攻撃ヲ極度ニ恐レ早朝ヨリ音爆ヲ行ヘリ
 一九。迄ニ一八波ニ及ビタルモ部隊ハ九。飛行場ニ
 兵力ヲ集結シ作業ヲ開始ス一九。夜軍機三機
 着陸同時四機上空ヨリ掩護ス
 二一九。以降敵ノ夜間戦闘機艦爆等ノ銃爆撃ヲ受
 ケタルモ徹宵作業ヲ續行。四。中一。米。長サ一八。米
 ヲ完成セリ

四月十九日 二十日 晴後雨

一 前日ニ引續キ。九三。作業ヲ開始シ中ニ。米長サ
 大畧敵ノ地味機ノ襲撃ヲ防シテ雨風強ク
 二 四月二十日 敵機ハ早朝ヨリ攻撃シ未リ修復セル滑
 走路ニ對シ銃爆撃ヲ加ヘルニ至リ使用不能ニ至リ
 タルヲ以テ部隊ハ九。作業ヲ開始シ。一八。米
 完成ヲ目ザシ徹宵作業ニ邁進ス

四月二十一日 晴

一 四五。敵機夜間作業防害ノ為來襲銃撃並ニ
 四ツト砲ノ音爆ヲ繰返シ作業ヲ防害ス
 二 飛行第八師團ハ明二十二日薄暮ヲ期シ總攻撃ヲ
 開始ス

三 部隊ハ九飛團作命ニ基キ西側一。一八。完成ヲ
 自途トシ左記命令ヲ下達ス

一三八飛場設作命甲第廿七號

第一八野戰飛行場設定隊命令

四月廿一日六三
東飛行場

一九飛團作命第廿七號ニ依リハ飛行八師團ハ明二十日
薄暮ヨリ沖繩周辺ノ敵ニ對シ總攻撃ヲ開始スル筈
ニ部隊ハ先ヅ滑走路西側一〇〇×八〇米及補助滑走路
ノ整地輾圧ヲ明二十二日〇五〇迄ニ完成シ航空作
戰ニ策應セントス

ニ各隊ハ予メ指示セル担任區域ニ基テ作業ヲ續行
スベシ特ニ作業間ハ敵ノ急襲ヲ豫想セラルヨ以テ
對空監視ヲ至嚴ニオラシムベシ

四高見曹長ハ各隊ニ車輛ヲ配當スルト共ニ輾圧
ノ整地輾圧ノ整地ヲ各隊ニ任ズベシ
五爆破隊長ハ引續キ不發彈ノ處理ニ任ズベシ
六予ハ戰鬥指揮所ニ在リ

設定隊長

山田少佐

一三八飛場設作命甲第廿八號

第一八野戰飛行場設定隊命令

四月廿一日六三
東飛行場

一部隊ハ引續キ彈痕補修並ニ補助滑走路(五×八〇)
ヲ構築セントス

ニ各隊ノ作業担任區域ハ現地ニ於テ指示セル如ク
對空監視ヲ嚴ニシテ、敵機未襲ノ間斷ヲ利用シ
作業ヲ續行スベシ 夜間燈火使用ヲ禁ス

三高見曹長ハ各隊ニ自動貨車一ヲ配當スルト共ニ

34 晝間偵察セル結果ニ基キ輾圧ヲ實施スベシ

四 作業ノ細部ニ関シテ八岡田大尉、方石建校中尉ヲシテ指示セシム

五 爆破挺身隊、編成ハ本日之ヲ解ク

六 予ハ一七。以降作業指揮所ニ在リ

設定隊長 小田少佐

四月二十三日

品云

一。三四。一。六。迄グラマン數十機ハ連続飛行場銃撃並ニワット弾ヲ以テ攻撃其ノ一弾ハ洞窟ニ命中折柄退避中ノ第五。六待設隊言備工兵隊並ニ獨立歩兵第二九八大隊ノ一部ハ直撃弾ニヨリ左記如キ

戦死一名 重傷四名 軽傷一二名

二 左記命令ヲ下達ス

一 三 飛場設作命甲第四九號

第三八野戦飛行場設定隊命令 四月二十三日

一部隊ハ前日ニ引續キ滑走路(西側)一〇〇×一八〇。米ノ補助滑走路ノ彈痕補修ヲ實施シ二四〇。迄ニ完成セトス

二 各隊ノ担任區域ハ現地ニ於テ指示ス、特ニ薄暮、時機ヲ利用シ彈片並ニ土塊ノ清掃ニ務ムルト共ニ補修箇所ハ銃頭ヲ以テ充分輾圧スベシ

三 高見曹長ハ一九。以降輾圧機ヲ以テ予メ偵察セル箇所、整地輾圧ヲ實施シ得ル如ク準備スベシ

セル箇所、整地輾圧ヲ實施シ得ル如ク準備スベシ

36 各隊作業間敵機ノ來襲ニ備ヘ對空監視ヲ嚴ニ
スルト共ニ個人用防空壕ノ構築ニ勉ムベシ
五予ハ戦闘指揮所ニ在リ

設定隊長 山田少佐

四月二十四日 雨天

一〇七四〇ヨリ一六一〇ノ間數次ニ亘リ敵機來襲雲上
ヲ施画シ偵察セルモ投彈スルコトナリ脱去セリ
ニ夜間ノ降雨ニ依リ彈痕沈下セル為ニ左記命令ヲ
下達ス

一三八飛場設定命令 甲 第五〇號

第一三八野戰飛行場設定隊命令 三月二十九日 東飛行場

- 一 部隊引續キ彈痕ヲ補修セントス
完成期二十五日二十四〇トス
- 二 各隊ノ作業担任区域ハ現地ニ於テ指示セル如シ
- 三 高見曹長ハ自動貨車ニテ別ニ示ス箇所ニ砂ヲ準備
スベシ
- 四 作業細部ニ関シテハ岡田大尉カ石建技中尉ヲシテ
指示セシム
- 五 予ハ戦闘指揮所ニ在リ

設定隊長 山田少佐

四月二十五日

曇

- 一〇七。五ヨリF6F八機TBFB七機ヲ以テ未襲六波ニ
亘リ飛行場ヲ銃撃セリ
- 〇九〇。以降日没迄F6FTBFB八機數次ニ亘リ未襲延
- 五。概ニ及飛行場ニ銃撃投彈ス
- 二部隊八〇九。飛行場北端ニ集合部署ニ基キ引続キ作業
ヲ続行ス然レトモ敵又頻頻襲ニシテ作業困難ヲ極ム
- 三陸軍上等兵林 繁雄ハ中隊傳令トシテ命令傳達ノ
爲 空襲下中隊作業位置ニ向ヒ行動中一五二五艦爆
八機ノ急降下爆撃ニ遭遇セシトシ爆彈着辺ニ炸烈シ壯烈
ナル戦死ヲ遂ゲタリ

四月二十五日

- 一滑走路内雨水多量ノ爲作業困難ヲ極ムハ六部隊ハ
降雨ヲ犯シ強行作業続行ニ四。終了ス
- 二對空射撃部隊又對空砲火ヲ浴セ敵ヲ牽勢セリ
- 二八飛場設作命甲第五一號
- 第一八野戰飛行場設定隊命令 四月二十七日一三〇〇
東條飛行場
- 一部隊ハ本薄暮及夜間攻撃ニ即應スル爲速カニ西側滑走
路一〇〇×一八〇〇米ヲ一八〇〇道ニ又南部滑走路東側
一〇〇米整地輾圧北補助滑走路ヲ構築セントス
- 二各隊豫メ現地ニ於テ指示セル如ク對空監視ヲ嚴シク
敵爆撃ノ間斷ヲ利用シ銳意作業ヲ実施スハシ
- 車輛ノ配當ニ関シテ岡田大尉ヲシテ指示セシム

40 三高見曹長後ノ偵察セル所ニ基キ穴ヲ以降輾圧ヲ定施
得ル如ク準備スベシ

四予ハ戦闘指揮所ニ在リ

設定隊長

山田少佐

一ノ五ニヨリ一孔五ノニ至ル間一四波ニ分レ一七機未襲
特ニ。五ニテ未襲ノF6F八機TB九機攻撃ハ概初ニ
シテ猛烈ニ極ム爲之滑走路内中小型彈痕六口ニト

彈痕一三ヲ生マ

三部隊ハ一孔戦隊並ニ一五戦隊特攻隊ノ出雲ニ即應シ

一三三ノ集合一四〇〇ノ開始

ニ三三ノ作業ヲ完成ス

四月二十八日

一嘉手納方面敵ハBニC三D一五ト然四ノ小舟艇

ハ。ニニテ依然上陸続行中ナリ(三十七日七時)石垣宮古間

ニ新ナル敵機動部隊遊方中ニ三三ニ波ニ分ト延六一機

未襲マ

二部隊ハ一六〇〇集合一六三〇作業開始前日三列縦ヲ作業

ヲ定施ス

三二二三。一九FR軍偵三出雲ス

二四〇〇作業ヲ中止ス

四月二十九日

晴

一天長佳節ヲ迎ヘ部隊將兵ノ志氣正ニ天ヲ衝ク感

四アリ敵未襲ハ亦頻繁ニ三三ニ七回延一三一機ヲ撃ハ至

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

トシニ滑走路ノ攻惠ヲシテ作業ヲ妨害ス

ニ部隊ハ一六〇〇集合合隊長ヲ集前署ヲシテ請注意ヲ與

ハタル後一六三〇作業ヲ開始ス

三三〇〇及二三〇〇兩回ニ旦リ夜間未襲シ作業並ニ之雲ノ

妨害ヲ受ケ〇三三〇作業中止大休止

五月一日

曇後雨

一〇二四八〇リ一九五五並ニ延六三機未襲第一回飛行場

北端對空障地第二面以下滑走路並ニ周辺密林地帯

ニ對シテ攻撃ス

ニ部隊ハ一七三〇集合一八〇〇作業開始雨中強行シ

一七五〇一八〇〇四機未襲滑走路中央部ニ三個投彈ス

五月三日

雨後雲

一未襲緩ニシテ作業進捗セリ

二二三言第四十二中隊軍偵ニ機出惠セリ

五月四日

晴

一〇七五〇一八〇〇二機TBフニ三機未襲滑走路ニ大小一二

個投彈以後未襲ナシ情報ニ依レバ一三〇宮古基矣

二四〇度三〇軒地矣ニ敵艦船一六隻現出一二〇〇ヨリ

宮古島ハ艦砲射惠ヲ受ケタリ

ニ部隊ハ一四〇〇作業開始二〇〇〇道ニ西側滑走路一〇〇六〇〇

米搬成ヲ終リ以後輾圧車ニ依リ輾圧強化ニシテ完成ス